

た伴 正海先生に「当事者たちが共に創るご当地の地域包括ケアシステム」と題してご講演いただき、ランチョンセミナーでは、佐久総合病院の北澤彰浩先生に地域包括ケアの先駆けとも言われた佐久地域での地域包括ケア推進の活動についてご講演いただきました。さらにシンポジウム5題、ポスター発表51題の発表が行われました。

特にシンポジウムでは、地域医療、在宅医療、訪問看護、行政の様々な立場から発表、討論が行われ、大変有意義な会となりました。

最後に本学術集会在が地域包括ケアシステムの構築に向け、その一助となれば幸いです。

分科会等開催案内

2018年度クリティカルパスワークショップ

テーマ：クリティカルパスを正しく理解し、病院運営に役立てよう

クリティカルパスが日本に導入されて20有余年になります。臨床の現場に活用され、医療の質向上に大きく貢献していることは皆の認めることと思います。

日本医療マネジメント学会が行っているアンケート結果をみるとクリティカルパスは200床以上の病院の約9割で導入され、各病院で使用されているクリティカルパスの数も増加しています。

一方、同じアンケートから組織としての取り組みのあり方、紙クリティカルパスから電子カルテクリティカルパス移行時の問題等々現場においての運用にさまざまな問題が生じていて苦労されていることがわかりました。

本ワークショップは各施設でクリティカルパスの運用に携わっている方々が夫々の問題を持ち寄り、意見を交換し問題の解決をはかることを目的に企画されました。

クリティカルパスの実務担当者、できれば各施設から複数の御参加を頂きたいと考えています。

多数の御参加をお待ちします。

・日時 2019年1月26日(土)13:00～1月27日(日)12:00

・場所 医療法人創起会くまもと森都総合病院

5階大会議室

(〒862-8655 熊本市中央区大江3丁目2番65号)

・プログラム

第1日目 1月26日(土)

13:00 受付開始

13:30 開会

講演 I

「クリティカルパスの普及と課題」

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

14:00 講演 II

「クリティカルパスの基本」

朝日野総合病院病院長 野村一俊

14:30 ワークショップ

コメンテーター 朝日野総合病院病院長 野村一俊

朝日野総合病院院長補佐 片渕 茂

国立病院機構熊本医療センター副院長 清川哲志

新田塚医療福祉センター福井総合病院副院長

勝尾信一

おびやま在宅クリニック院長補佐 田代清美

17:30 移動

18:00 意見交換会

20:00 第1日目終了

第2日目 1月27日(日)

8:30 受付

9:00 講演 III

「クリティカルパスを活用するための工夫」

新田塚医療福祉センター福井総合病院副院長

勝尾信一

9:30 ワークショップ発表

11:30 総合討論

12:00 閉会

〈募集要項〉

○対象 医師、看護師他医療スタッフ

(できるだけ、医師と医療スタッフのペアでご参加ください)

○会費 5,000円(但し、学会非会員 7,000円)

※意見交換会参加費は2,000円です(原則全員参加)。上記会費に2,000円を加えて同時に御入金ください。

○定員 60名(定員を満了し次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込み下さい)

○受付期間 2018年12月3日(月)～2019年1月11日(金)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

2018年度医療連携分科会

テーマ：同時改定を振り返り、医療機能の分化・連携を考える

2018年度は医療・介護の6年に1度の同時改定年、さらに第7次医療計画、第7次介護保険事業計画のスタート年でした。この2018年度を振り返り、団塊の世代700万人が後期高齢者となる2025年へむけての医療の機能分化と連携の強化について考えて行きたいと思えます。また2018年6月には団塊ジュニアが高齢化する2040年における社会保障給付費の推計が初めて公表されました。2040年問題を念頭に置きながら2025年問題を改めて振り返って考えたいと思えます。みなさまのご参加をお待ちしています。